

ハーモニープラザだより

発行:秋田県中央男女共同参画センター 電話:018-836-7853 <http://www.akita-challenge.jp/center/>
〒010-0001 秋田市中通2丁目3-8 アトリオンビル6F 指定管理団体・NPO 法人いきいき F ネット秋田

平成23年12月発行
vol.16

開催速報

11月25日(金)～26日(土)開催

ハーモニープラザまつり 2011

～自分らしく認めあって生きる～

11月25日～26日、ハーモニープラザまつりを開催しました。
今年のテーマは「自分らしく認め合って生きる」で、このテーマが持つ様々な価値観や個性持つひとり一人がお互いを尊重しあいながら、自分らしく生きられるは男女共同参画社会の基本にあることです。

今年度は実行委員会に20団体が参加し8月から幾度も実行委員会を開催しながらテーマや内容を決め、広報活動をしなが準備を進めて来ました。

オープニングは混声合唱団宇宙さんの合唱に、スクエアダンス30さんのデモンストレーションも加わり、例年にましてより賑やか開会しました。2日目のカチューシャ安田さん(ダースコちんどん隊代表)の基調講演には100名以上の方が参加され、安田さんのお話やその後のちんどん演奏に聞き入っていました。話の内容は今回のテーマにまさにふさわしい内容で「音楽こそ我が人生」と題し、ちんどんを専業し自分らしく生きられるようになった現在までの経緯をアコーディオン演奏を織り交ぜながら語っていただきました。(※講演の詳細は次号で掲載予定)

また、地下1階のフリーマーケットや午後からのワークショップにも大勢の人が訪れ、それぞれの団体の趣向を凝らしたワークショップや展示コーナーに見入ったり、参加したりしていました。

また、今年は2日間のまつり全体を通して「秋田駅周辺魅力創造プロジェクト・エキニコ!」でWEB配信されるなど、より多角的に開催されたまつりとなりました。



オープニングを盛り上げてくれたスクエアダンス



今年も大盛り上りの地下フリマ会場!



味のあるアコーディオン演奏も聞かせてくれました♪

◆ 目 次 ◆

- P1. 開催速報 ハーモニープラザまつり2011
- P2. 女性チャレンジ支援講座「ライフランニングでわたしの夢実現」、又エック参加報告
- P3. アクティブシニアに変身応援事業「レッツエンジョイ スクエアダンス」
地域で防災チェック&アクション「第1回 身近に引き寄せよう防災感覚」
- P4. 「性被害者に携わる支援者のスキルアップ講座」、お知らせ、編集後記

開催報告

●○女性チャレンジ支援講座《全三回》○●

「ライフプランニングでわたしの夢実現

～先を見通す力がチャレンジを可能にする～

【第1回】 10月5日(水)

女性がチャレンジするために社会の動きを知る そして「これからの私」につなげる

講師：大槻奈巳さん(聖心女子大学准教授)

「現代社会を知る&これからのに向けて」の講義で女性の置かれている状況を知り、チャレンジするために必要な力や支援などについて考えました。また「キャリア」には職業活動上、社会活動上の2種類があることを知り、ワークではそれぞれの「キャリアヒストリー」を書いてみました

【第2回】 10月19日(水)

キャリアモデルによる「私のチャレンジ体験談」

三浦有貴子さん(クルールあきた版編集長)

小玉朋子さん(『Akitaコドモの森』代表)

三浦さんは『揺るがない気持ち』、小玉さんは『楽しむ、必ず出来る、人への思いやり』を原動力に、ご自分のキャリアと資源を存分に活かしておられます。受講生も秋田で身近にチャレンジするお二人に大いに刺激を受けたようでした。

【第3回】 11月1日(火)

チャレンジするためのライフプランー10年後の未来日記を書いてみようー

講師：新井浩子さん(日本女性学習財団)

ワークでは未来日記をもとにアクションプランを作成してみました。文字で記してみると、希望やそれを阻む障害が明確になりました。「いつまでに、何を、どうするか」・・・実現にむけてみなさんが一歩踏み出せた明るい講座でした。



感想(アンケートより)

- ・自分の目標が明確になりました。
- ・眠っていた何かを呼び覚ましてくれた講座だと思います。
- ・夢を実現して人生を豊かにしていきたい。

又エック(NWEC)参加報告



秋田県からの参加者で記念撮影

《報告1》10月21日(金)～23日(日)の三日間、NWEC フォーラム2011 が埼玉県国立女性教育会館で開催されました。今年のテーマは「男女共同参画社会への展望ー新たなコミュニティ創出のための関係づくり」。

全国からこの研修のために、熱い思いを持った大勢の受講者が集い交流を深めました。今年は東日本大震災の体験を通して、実際の避難所で女性や子ども、高齢者などが抱えた様々な問題点など浮き彫りにしながら、今後へとつなげていくためのワークショップも多く設けられました。体験談をしっかりと聞き何が必要で何をしなければならないかをしっかりと見極めて、普段から防災への意識を持って行動する、そして何よりもなかなか進んでいかない「男女共同参画」を推進させていく必要性を改めて感じた研修となりました。

《報告2》センターわかばマークの私、あこがれの交流推進フォーラムでは、初日、二日目と女性の再チャレンジがテーマのワークショップを中心にめぐり、迎えた最終日。シンポジウムのテーマは「災害・震災復興と地域づくりー男女共同参画社会への展望」です。

強く印象に残った一言。シンポジスト山形県知事吉村美栄子さんの「脱原発」、NPO コミュニティ・サポートセンター神戸理事長中村順子さんの「人間復興」、河北新報社鈴木素雄さんの「メントモリ～被災者の死 未来へ向けての死」。パブリックの復興のみならず、地域社会の再生、人間が復興すること、効率重視のインフラに別れを告げて、原発が引き起こすであろう未来への死を直視すること。

Building back better! 今こそ男女共同参画社会の構築がもとめられている! との思いを新たにNWECを後にしました。



アクティブシニアに変身応援事業 「レッツエンジョイ スクエアダンス」



今年度の「アクティブシニアに変身応援事業」は、ハーモニープラザの登録団体の一つである「秋田スクエアダンス30」の方々と共催しました。9月下旬から10月上旬に、3回にわたって募集した一般参加者を交え「保戸野コミュニティーセンター」で行われました。

この事業は、活動的なシニア世代を応援し、これから迎える高齢期への心身の自立と地域における交流の推進を目的としています。今回の「スクエアダンス」は世代を超えて愛されているフォークダンスの一つです。8人構成のグループが基本で、全員と手をつなぎ、簡単な英語の呼びかけで動くという特徴があります。踊り出す前に、コーラーが呼びかける短い英語を聴き、パートナーと一緒に判断するため緊張感が求められますが、それがかえってお互いのチームワークの楽しさを倍増させます。心地良いさわやかな汗と達成感、シニア世代に最適な運動と言えます。参加者は「思っていたほど体に負担がなく気軽にできるダンスですね」と感想をのべていました。

・とても楽しかった
・来年も是非企画をしてほしい



地域で防災チェック&アクション

《第1回 身近に引き寄せよう防災感覚》

地域の災害を想定し、男女共同参画の視点で課題を見つけながら防災面での実践力を図るための講座が、去る11月6日(日) 潟上市立羽城中学校 視聴覚ホールにて、潟上市・南秋田郡PTA連合会との共催で開催されました。前半は秋田大学地域創生センターの水田俊彦准教授の「見直そう!地域の防災」のタイトルで、近い将来想定される、秋田沖空白域の地震についての話題が提供されました。後半は学校関係者、PTA関係者、消防本部、民生委員をパネリストにフォーラムに移り、3月11日の震災時に見えた問題が出されました。その中では、日中の災害で高齢者や障害者が一挙に孤立した、家族の安否確認が取れず不安だった、管理者として早急な判断が求められ、その結果が正しかったかどうかなど、危機的状況で各自がどのように動いたかが報告されました。

どのパネリストも災害からみえる家族と地域住民の関係性について言及しており、「自分の身は自分で守る」「災害時の情報は自分から取りに行くことが重要」と、防災の心構えの基本点を強調していました。今後は12月11日(日)に「24時間がんばろぞ!(防災備品)キットづくり」と1月22日(日)に「避難時想定体験&生活支援講習会」が開かれる予定です。



☆☆参加者アンケートより

- ・災害があった時は地域の人たちとの連携が大切。性別や年齢に関係なく、自分からすすんで出来ることに協力しようと思った。
- ・家族で共通の認識をもつこと。「子どもだ」と思わないで、判断する力を身につけさせること。
- ・地域がもっと学校を利用することで、機能性を高めることが出来るのではないかと思った。

10/25(水)
10/26(木)

「性被害者に携わる支援者のスキルアップ講座」

毎年行なっている援助者のためのサポートセミナー、今年は「性被害者のための支援方法」と題し、女性人権機構との共催により行なった。講師は、カナダ、ブリティッシュ・コロンビア（BC）州における性的暴力、DV への効果的介入について最良の実践をされているスーザン・アームストロングさん。参加者は県内で活動している民・官それぞれの機関の相談員や助産師、議員の方々29名。

自国語で話されるスーザンさんの講義は通訳の方を通して伝えられ、それを元に熱心な話し合いや発表で進化した。研修では何故女性の方がPTSDが多いのかについて、それぞれグループに分かれて話し合ったが、「役割が多い分背負うものも多いから」などジェンダーに因んだ意見が多く出された。スーザンさんは「役割から解放後、感情が戻ってきて気持ちを言うが、周囲にはもう終わったと言われ、沈黙せざるを得ない。他の災害で呼び起こされたり、一年ぐらい後に症状が表れることが多い」「生き残ったことでの罪悪感や間接的にでも被害を受ける。ばらばらになっている女性にはつながることが必要だし、情報を知ることがエンパワメントにつながる」と話された。

暴力を受けても届け出ない理由についても話し合った。参加者からは「性は隠されたもの、話してはいけないもの、話せば二次被害を受ける。また、身内に加害者がいる場合は家の恥ということになり、更に言えなくなる」という声があがった。スーザンさんは「性的暴力とは、一般的に同意していないものを言うが、カナダでは例えば18歳以下の女性を性の対象にした場合は、暴力とみなされるなど被害者に同意の有無を確認しないカナダ独自の同意法というものがある。カナダでもレイプと認識されるまでは長い歴史があり、特に婚姻関係は難しかった」ということであった。

加害者が同意したと主張してもカナダには同意法があり、被害者が同意していないと言えれば犯罪となる。日本の未だ親告罪は何と手ぬるいことだろうと痛感した。BC州暴力終結機構というネーミングからも揺ぎ無い確固たる決意が感じられた。スーザンさんがやさしく微笑んで「いい質問ですね」と参加者に対応してくださることからもまたとない学びを得た研修であった。

相談は無料です。秘密は厳守します。

【直通ダイヤル】018-836-7846

ハートニー相談室 ~あなたらしい生き方を応援します~

お知らせ

●年末年始休館のお知らせ

12月29日(木)~1月3日(金)までは年末年始のため休館となります。1月4日(土)より通常通り開館します。



完成したカレンダーを手に
皆で記念撮影

12月の折り紙教室

8(木) } どちらか一日
14(水) }
10:30 ~ 12:30

お正月飾り「連獅子」
を折ります。

材料費:600円



今後の行事予定

12/3(土) 基礎講座(にかほ市) 13:00~15:00

講師:カチューシャ安田さん(ダースコちんどん隊代表)

12/11(日) やってみよう・参加しよう地域防災!

~第2回 24時間がんばるぞ!・防災備品
キット作り(潟上市) 10:00~12:00

12/15(木) こどもサロン わんぱく広場「クリスマス」

10:30~11:30

おはなしの扉 14:00~15:00

しゃべり場「結婚って!」 18:30~19:30



【編集後記】

初めて『ヌエック』の研修に行ってきました。そこに行った人にしかわからない空気感や熱気の中に身を置いたからこそ得るものが沢山あったような気がします。『ヌエック』という学びの場で、時間割に従って希望するワークショップ会場へと足を運び、ペンを片手に講義を聞きながら、人生いくつになっても学べる喜びと大切さを感じました。(A・O)